

「在宅医療を担う多職種研修」アンケート集計結果

平成 27 年 3 月 23 日都筑区医師会地域多職種連携協議会資料

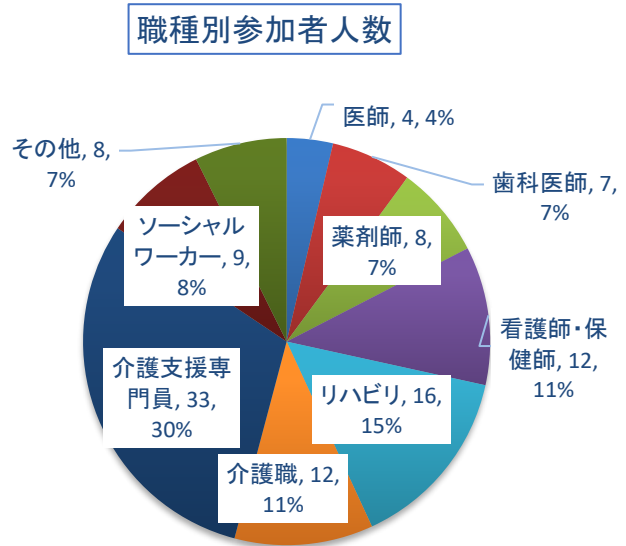
■対象者：「在宅医療を担う多職種研修」参加者

■実施日：平成 27 年 2 月 4 日

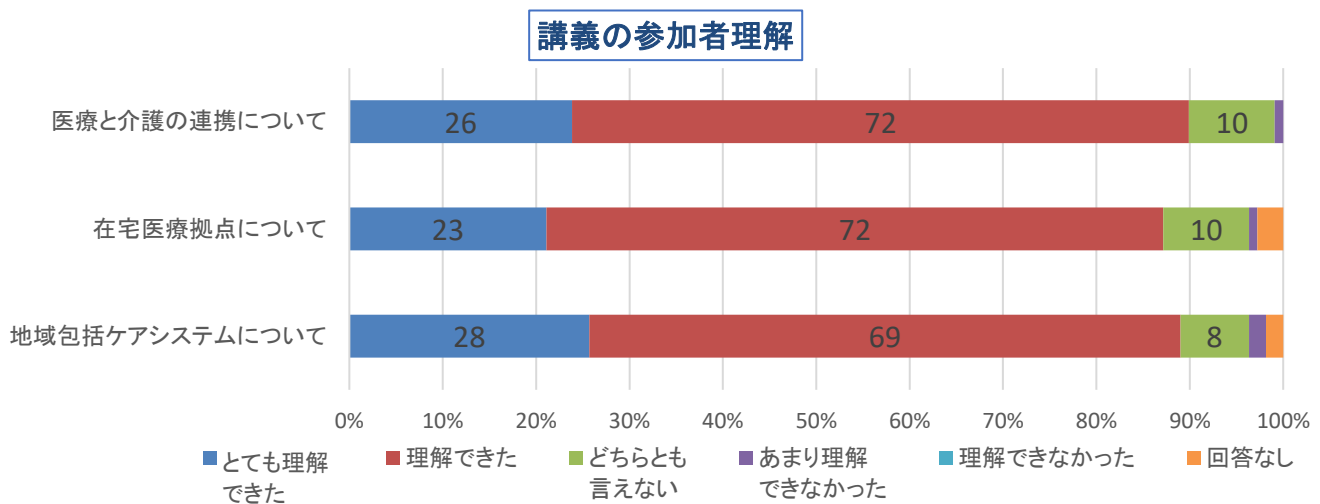
■回収率：75%（109/146 参加者）

問 1. 職種について、あてはまるところに○をお願いします。

職種名	人数
医師	4
歯科医師	7
薬剤師	8
看護師・保健師	12
リハビリ	16
介護職	12
介護支援専門員	33
ソーシャルワーカー	9
その他	8
合計	109

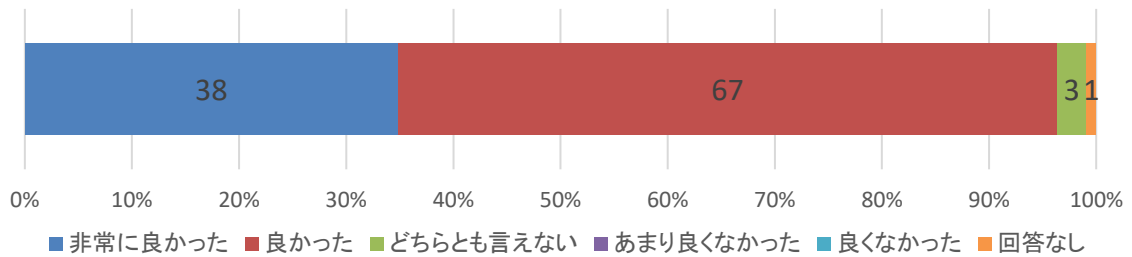


問 2. 第 1 部の「講義」についてあてはまるところに○をお願いします。



問3. 第2部「グループディスカッション」についてあてはまるところに○をお願いします。

グループディスカッションの参加者評価



1) 問3でなぜそう思ったのか理由をお聞かせください。

<多職種で意見交換できたことに関して>

- ・様々な職種、立場からの意見がきけた。(多数)
- ・他職種の方と色々な意見交換ができた。(多数)
- ・他の職種の悩みや問題点が分かった。
- ・顔を見て考えを聞くことができた。顔の見える関係が大切と思う。(多数)
- ・自分の職種の課題が見えた。課題が明らかになった。
- ・情報を共有できた。現状をよく知れた。
- ・他職種の方とこのような場でディスカッションできとても有効的だと思った。
- ・他職種でのコミュニケーションのいい機会になった。
- ・このような機会に参加することに意味があると思った。
- ・介護者は医師と連絡を取りにくいと思っているが、医師も情報がほしいと思っていることが分かった。
- ・他職種の視点で意見が聞けた。
- ・忌憚のない意見交換ができた。
- ・日頃会えない事業所の現場の声が聞けた。
- ・普段ここまで他職種の方と一度に話せる機会は持てなかったので、とても新鮮で発見が多かった。
- ・色々な職種の見方が分かった。他職種が日頃どう思っているかが分かった。
- ・地域の事業所を把握できるのでよかった。
- ・それぞれの職種に対する困りごとやどのように思っているかが分かった。
- ・他職種の意見が、自分の視点と違う見方があるので勉強になった。
- ・他職種の思っていることに気付かされた。
- ・病院、医師の意見が聞けた。
- ・医師が入っていて、顔の見える状態になっていることが大切だと思った。
- ・連絡が取りづらいと思っていることが、医療職も同じだと知ることができた。
- ・リハビリ関連の講習会には、なかなかケアマネや医師の参加はみられないため貴重な機会になった。
- ・医師と相談しやすくなった。医師と話せたのが良かった。考え方がよくわかった。

<グループワークに関して>

- ・人数が適当で意見を出しやすかった。
- ・本音を聞いた気がした。本音を言えた。
- ・上手に雰囲気、場を作ってください皆の意見が聞けた。

- ・時間が短い。
- ・普段話せない業種の人との交流の場となった。
- ・同じことを思っている人が多いとわかった。
- ・時間経過ごとに意見が出るのは良いこと、深まりを感じる。
- ・ファシリテーターの役割が不十分な印象。
- ・他職種の方と交流が持てた。
- ・終わるころ皆笑顔で話が弾んだ。
- ・他職種でのグループワークは勉強になる。

<その他>

- ・疑問に対する回答が知りたい内容もあった。
- ・連携の理解を深めたい。
- ・自らのサービスが包括ケアシステムのためにできることを、考えることができた。
- ・意見を話すとケアマネに対する意見になってしまうので・・・

問4. 今後、このような多職種が集まる研修に参加したいと思いませんか。

